

BladeSymphony

Virtage Navigator インストール手順書

Revision 3.20/A

HITACHI

重要なお知らせ

- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断わりします。
- ・本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お問い合わせ先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめ了承ください。
- ・他社ソフトウェアのインストール作業は、お客様責任で行っていただきますようお願いします。ただし、弊社が止むを得ないと判断する理由により、お客様から事前の書面によるインストール作業の代行依頼がある場合のみ、弊社が了承することを条件として作業を代行いたします。

登録商標と商標について

Adobe、Adobeのロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、およびWindows Vistaは米国Microsoft Corp.の米国および他の国における登録商標または商標です。

Java、JRE およびその他の Java を含む商標は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の登録商標または商標です。

版権について

このマニュアルの内容はすべて著作権に保護されています。

このマニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2010, 2013, Hitachi, Ltd.

BladeSymphony Virtage Navigator

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator のインストール方法について説明します。

なお、本資料での「」は参照を表しています。

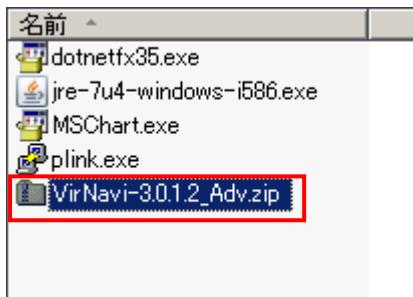
目次

1 Virtage Navigator のインストール	2
2 前提アプリケーションのインストール	3
2.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1	4
2.1.1 Windows Server 2012	4
2.1.2 Windows Server 2008 R2、 Windows Server 2008 R2 SP1	6
2.1.3 Windows 8	12
2.1.4 Windows 7、 Windows 7 SP1	14
2.1.5 その他の OS	17
2.2 Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5	19
2.3 JRE(Java Runtime Environment) 7	21
2.4 Plink Release 0.62	23
3 インストール後の確認	24
3.1 Windows Server 2012	24
3.2 Windows Server 2008、 Windows Server 2008 SP2	26
3.3 Windows Server 2008 R2、 Windows Server 2008 R2 SP1	27
3.4 Windows 8	29
3.5 Windows 7、 Windows 7 SP1	31
3.6 その他の OS	33
4 変更来歴	34

1 Virtage Navigator のインストール

PC または管理サーバ上に Virtage Navigator をインストールする手順は、以下のとおりです。

- ・ Virtage Navigator 用の zip ファイルを解凍します。
- ・ zip ファイル名と同じ名称のフォルダ、もしくは VirNavi フォルダが生成されます。



- ・解凍された VirNavi フォルダを PC または管理サーバ上の任意のフォルダにコピーしてください。
(解凍した際、zip ファイル名と同じ名称のフォルダが生成された場合、その生成したフォルダ内に含まれる VirNavi フォルダを PC または管理サーバ上の任意のフォルダにコピーしてください。)

なお、VirNavi フォルダのフォルダ構成は、以下のとおりです。

表 1-1 Virtage Navigator フォルダ構成

No.	フォルダ名	備考
1	VirNavi	Virtage Navigator フォルダ
2	AppData	なし
3	bin	Virtage Navigator 実行ファイル(VNavigator.exe)を含むフォルダ
4	FWUpdateFiles	なし
5	HVM	なし
6	BS320	なし
7	BS2000DP	なし
8	BS2000MP	なし
9	mms	なし
10	Regist	(Virtage Navigator のバージョンアップ時には、本フォルダは含まれません)
11	RemoteLPARControl	なし
12	modules	なし
13	samples	なし

2 前提アプリケーションのインストール

Virtage Navigator を使用するためには、以下の前提アプリケーションをインストールする必要があります。

前提アプリケーションの入手方法は、「Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編」をご覧ください。

表 2-1 前提アプリケーション一覧

No.	前提アプリケーション	備考
1	Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1	なし
2	Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5	なし
3	JRE(Java Runtime Environment) 7	<ul style="list-style-type: none">・スタンドアロン環境で使用する場合は必要ありません・Windows 64 ビット版をご使用して LPAR マイグレーションを行う場合、JRE(Java Runtime Environment) 32 ビット版と 64 ビット版が必要となります
4	Plink Release 0.62	スタンドアロン環境で使用する場合は必要ありません

2.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1

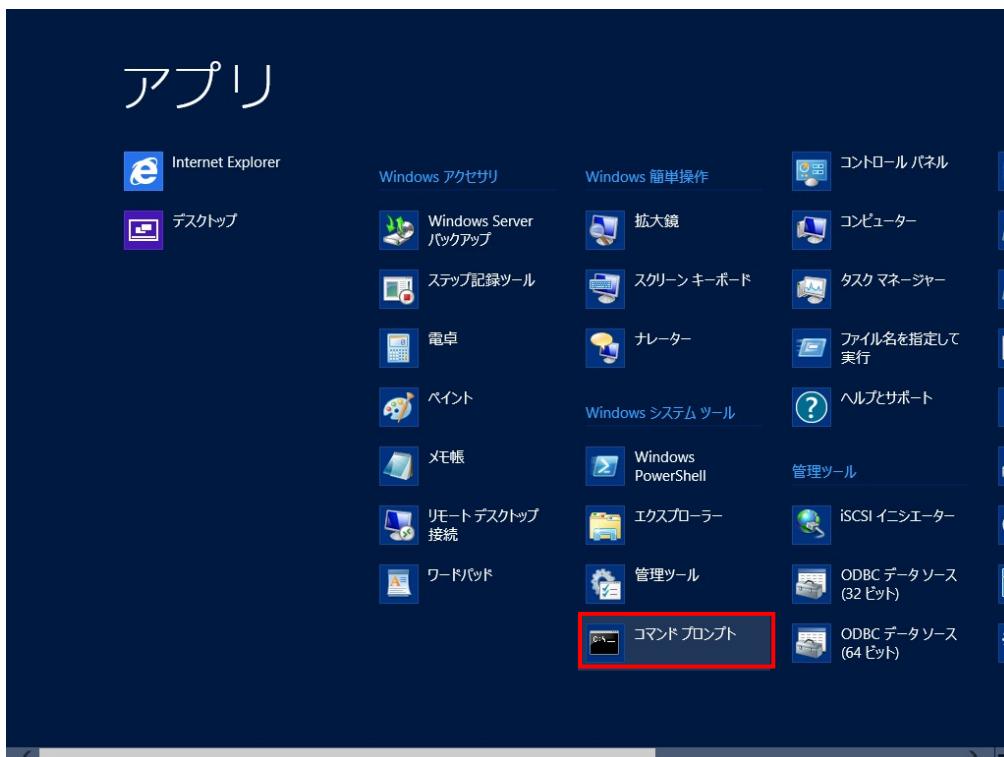
2.1.1 Windows Server 2012

⚠ 注意

2013年7月現在、コントロールパネルのWindowsの機能ウインドウでMicrosoft .NET Framework 3.5.1にチェックをつけても、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1はインストールできません。

Windows Server 2012をご使用の場合は、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1を以下のとおりインストールメディアを使用し実施します。

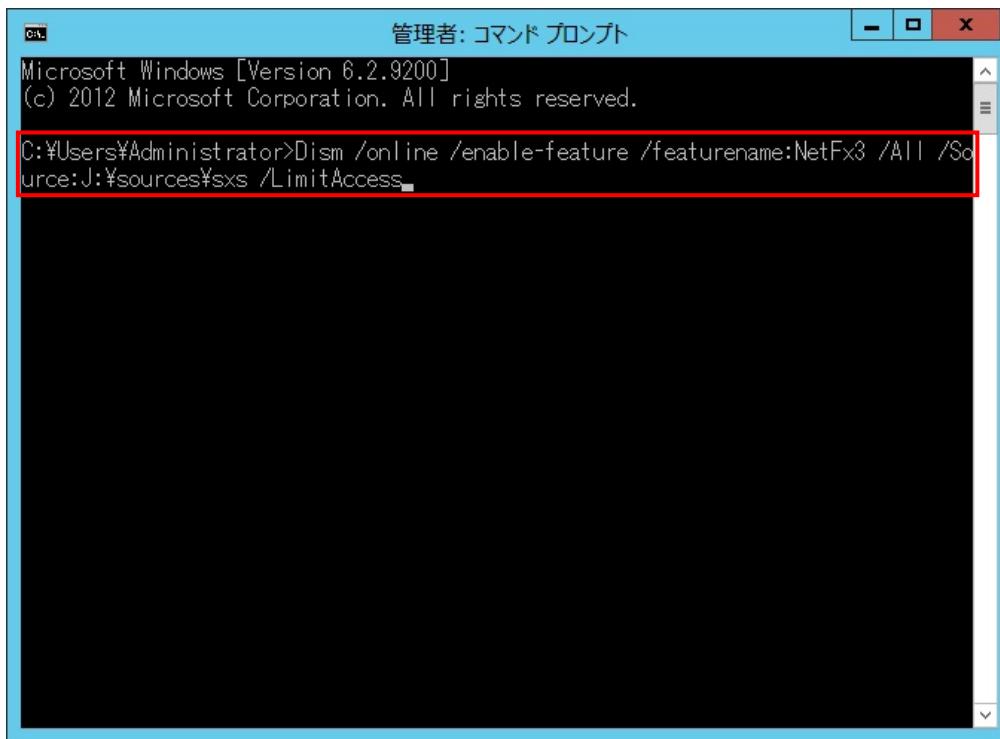
- 管理者権限のユーザでコマンドプロンプトを起動します。



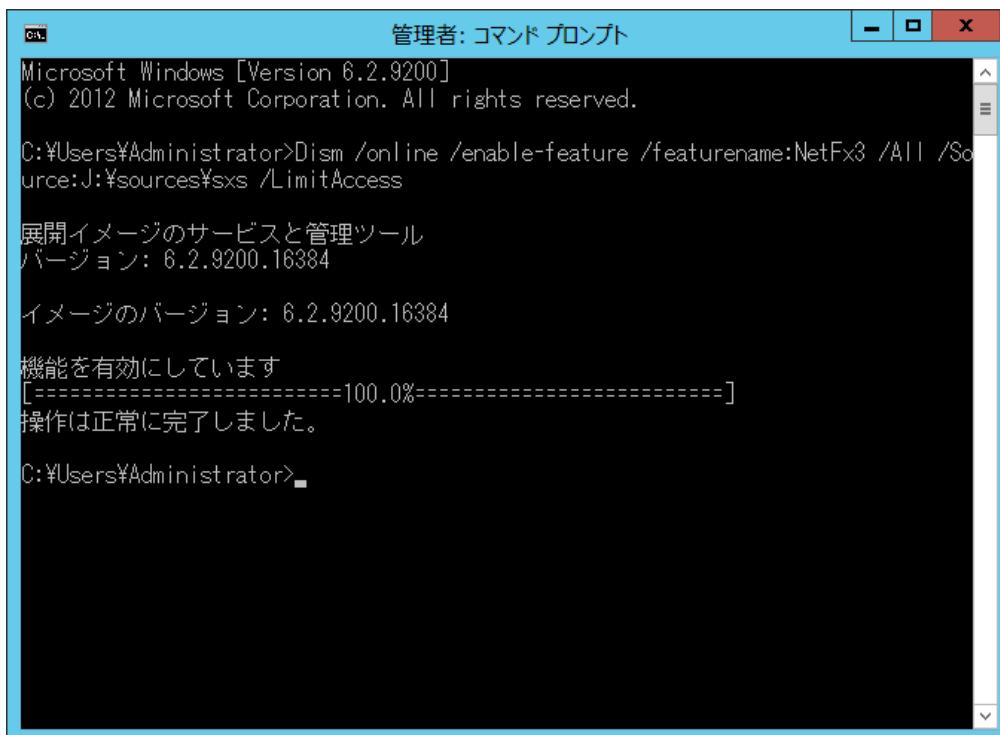
- 以下のコマンドを実行します。

```
Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:x:\sources\sxs /LimitAccess  
(x:CD/DVD ドライブの文字を入力します。)
```

ここでは、CD/DVD ドライブが J ドライブの場合を例としたコマンドを記載します。

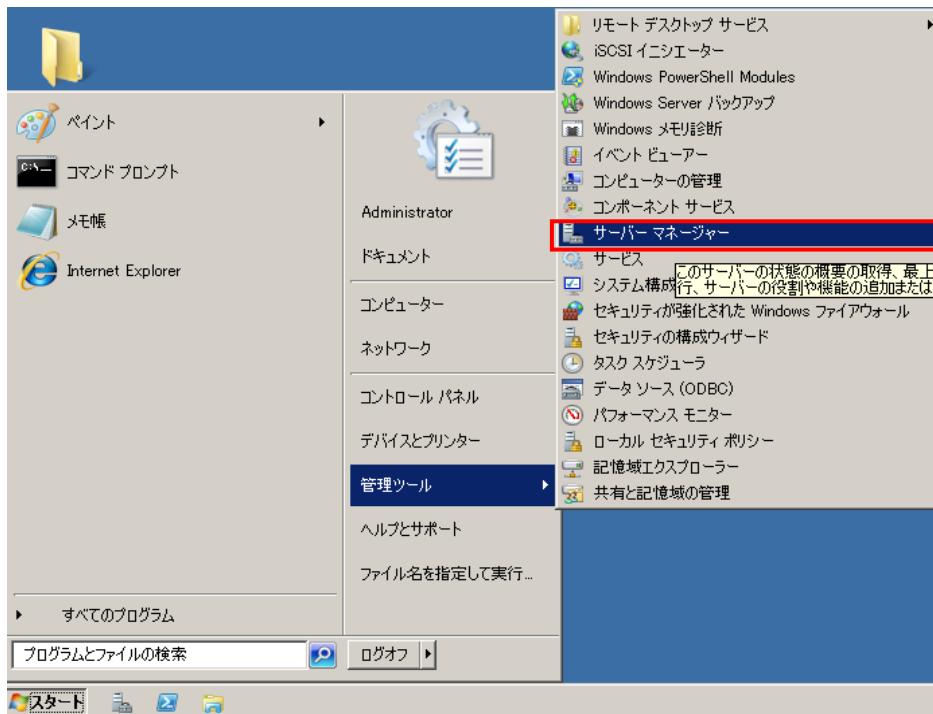


Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールが完了すると、以下のとおり表示されます。

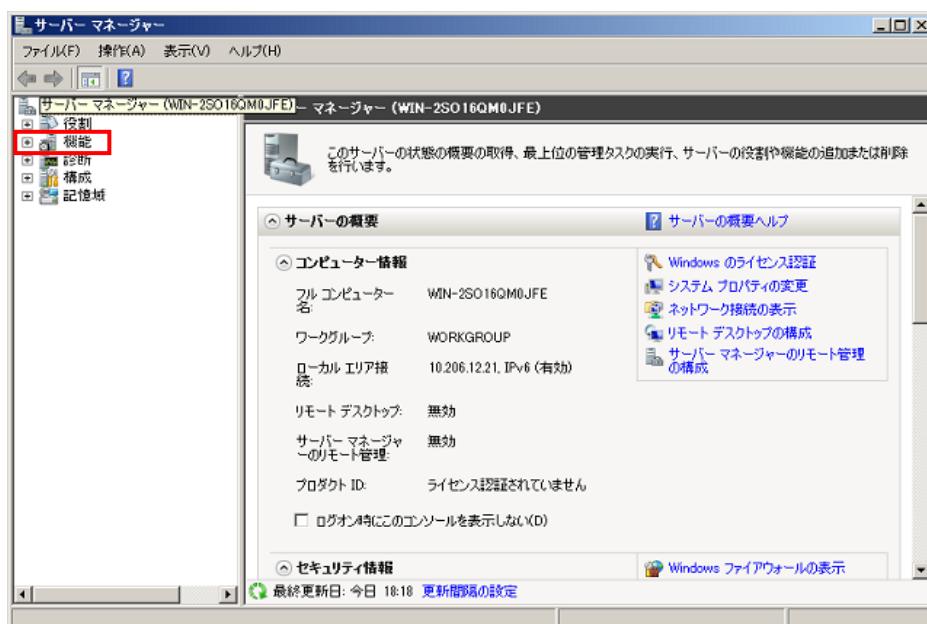


2.1.2 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1

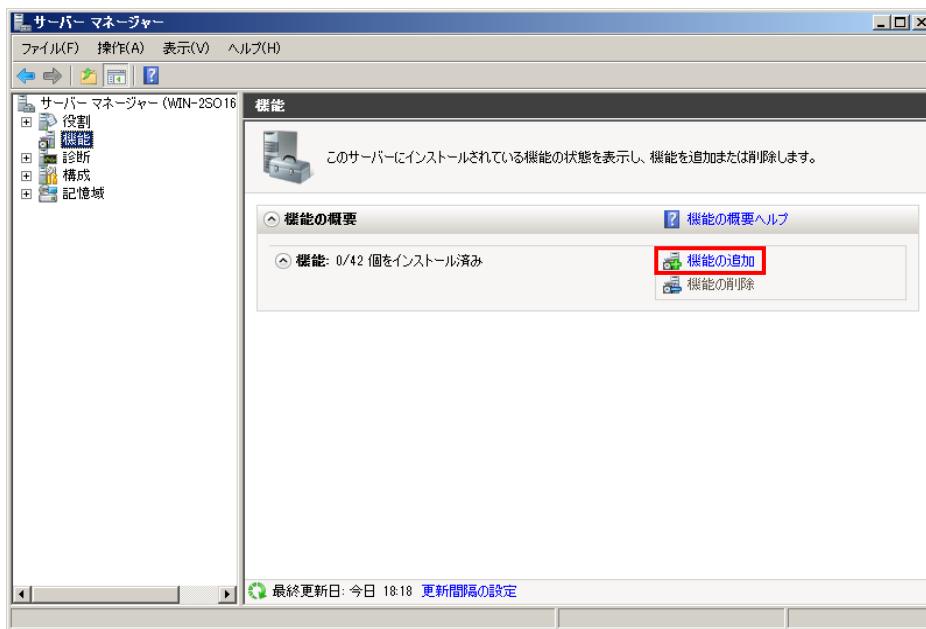
- スタートメニュー → 管理ツール → サーバーマネージャーをクリックします。



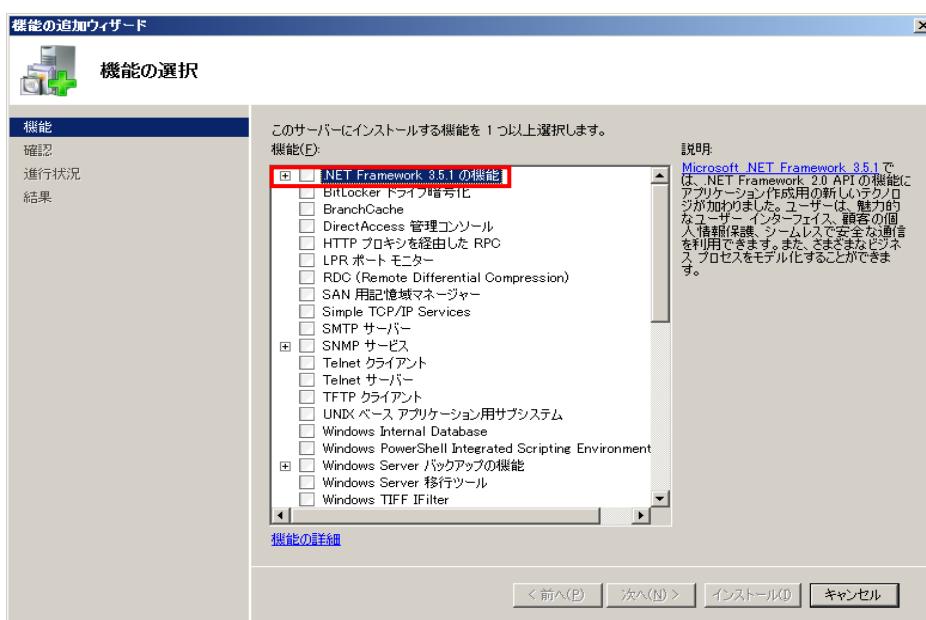
- サーバーマネージャーの左側で機能をクリックします。



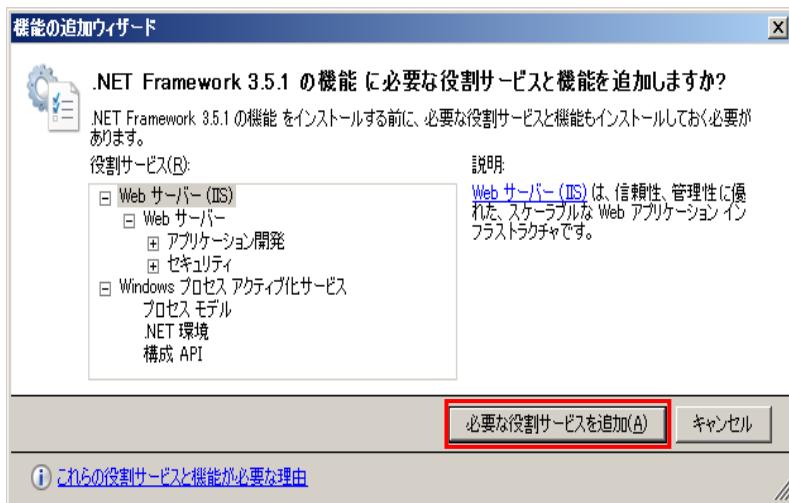
- ・機能の追加をクリックします。



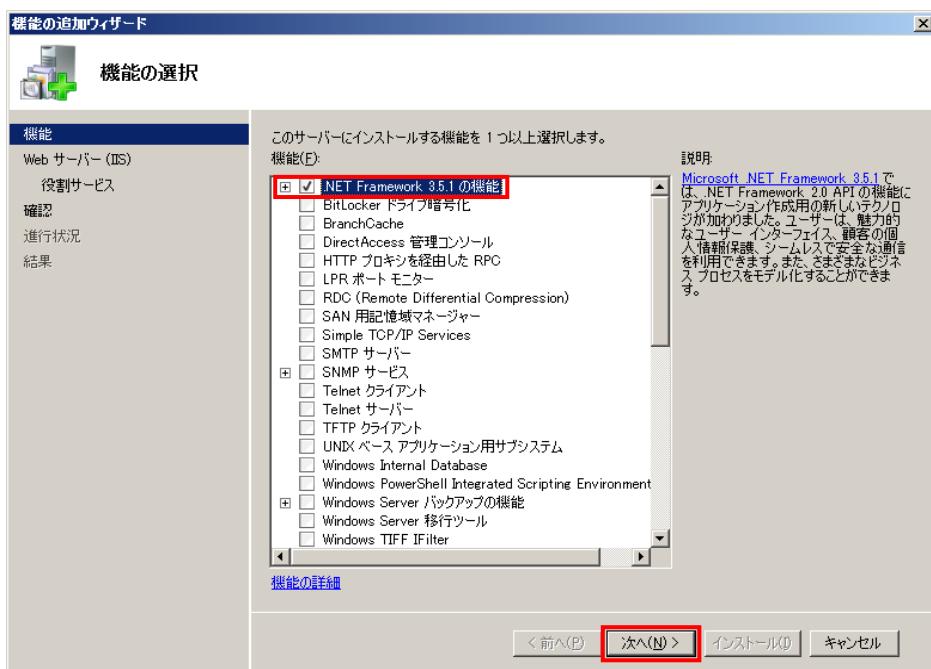
- ・.NET Framework 3.5.1 の機能にチェックをつけます。



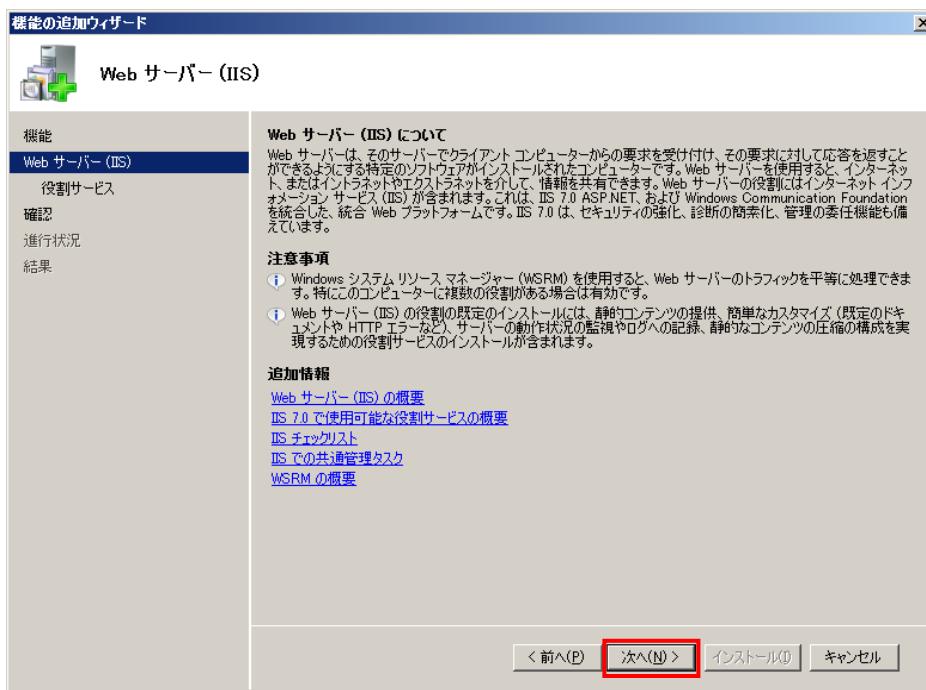
- 必要な役割サービスを追加(A)をクリックします。



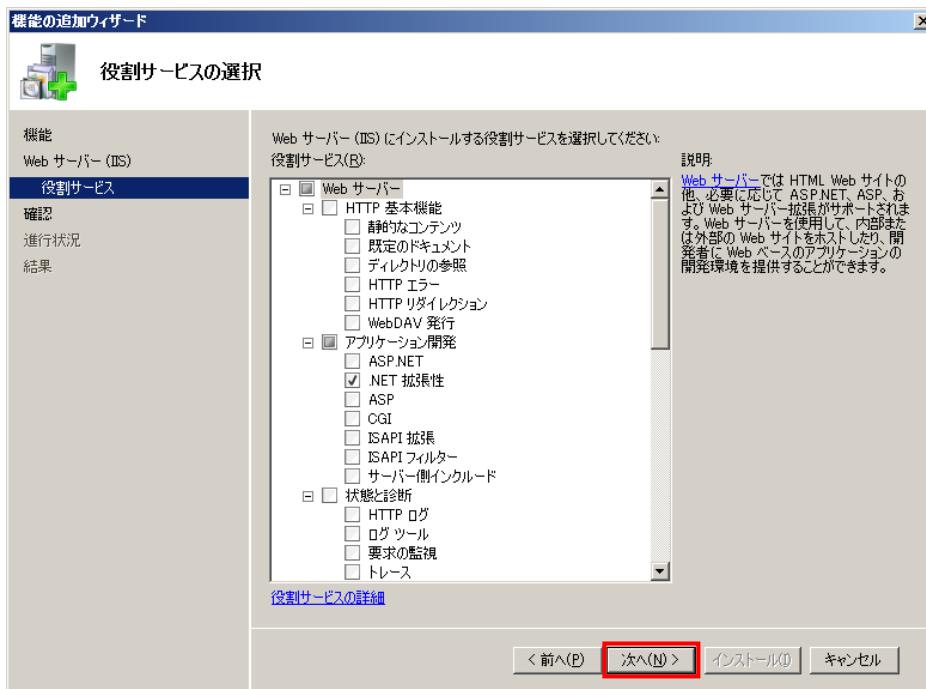
- .NET Framework 3.5.1 の機能にチェックが入ったことを確認し、次へ(N)をクリックします。



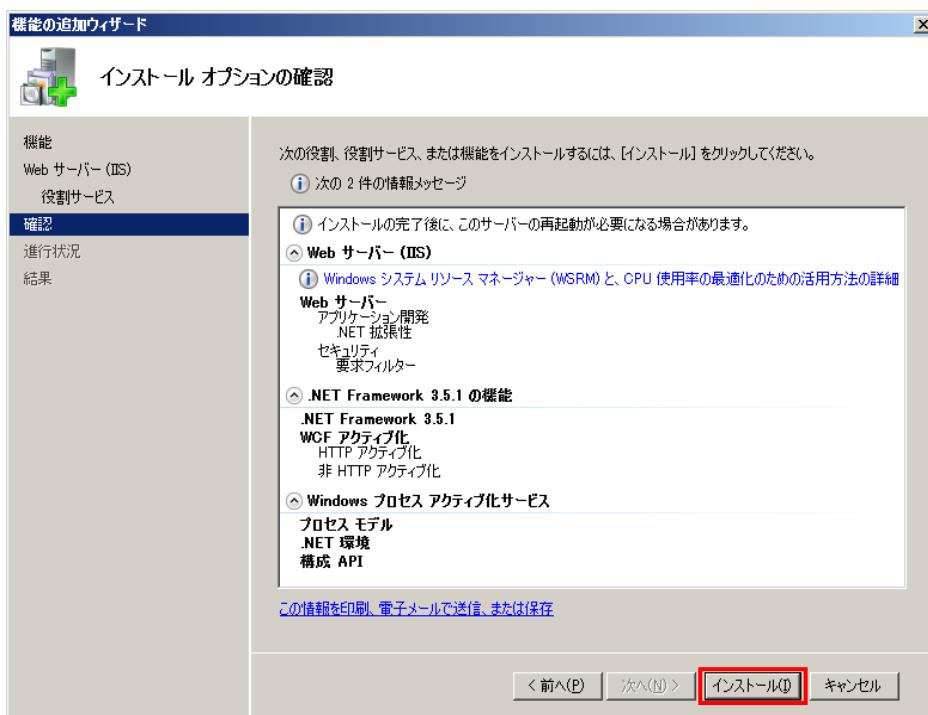
- ・次へ(N) をクリックします。



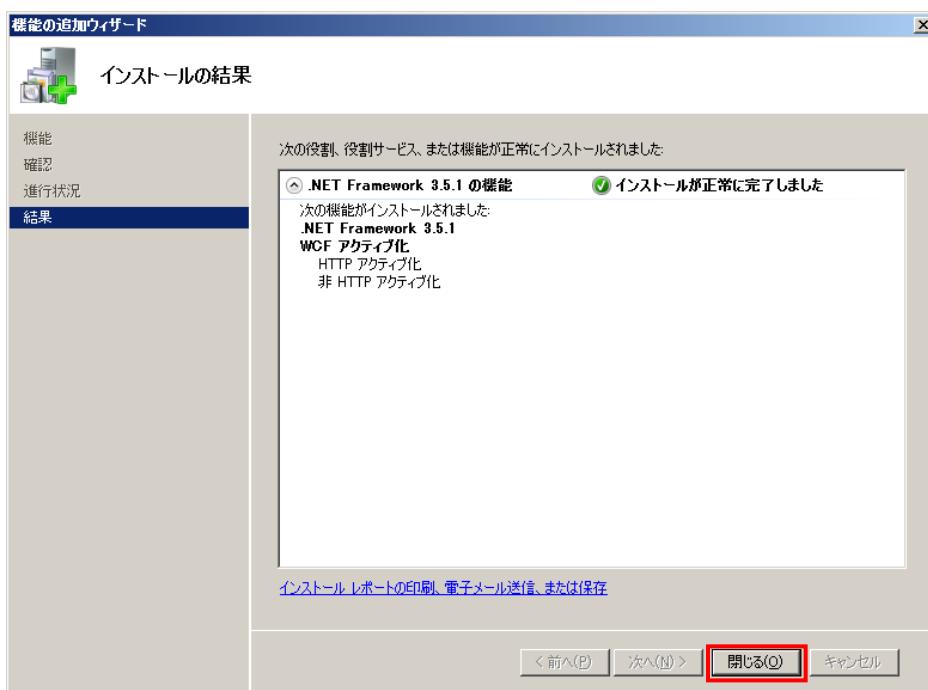
- ・次へ(N) をクリックします。



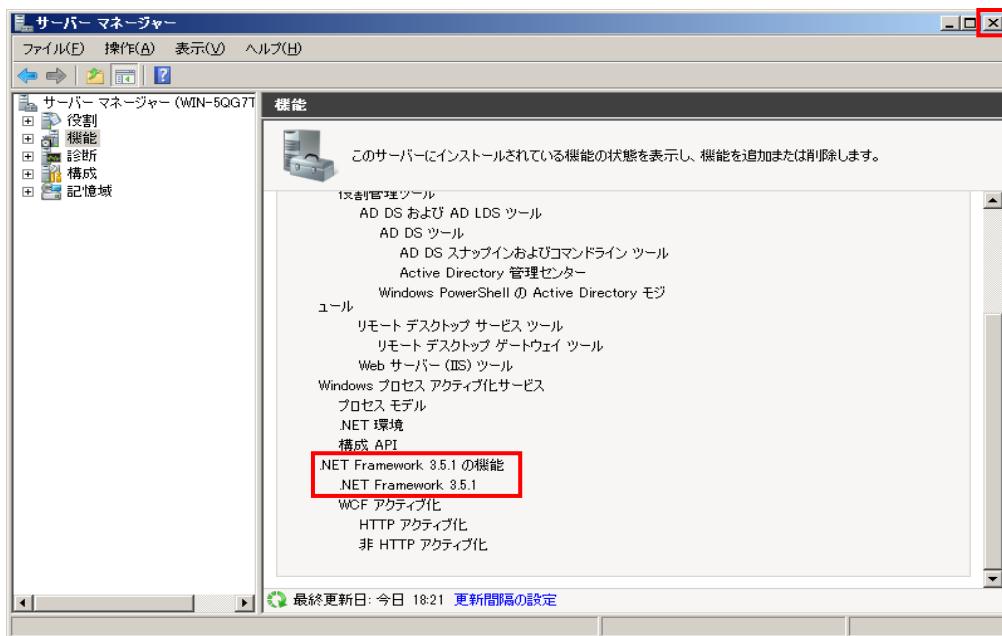
- ・インストール(I)をクリックします。



- ・閉じる(O)をクリックします。



- ・.NET Framework 3.5.1がインストールされていることを確認し、閉じるアイコンをクリックします。



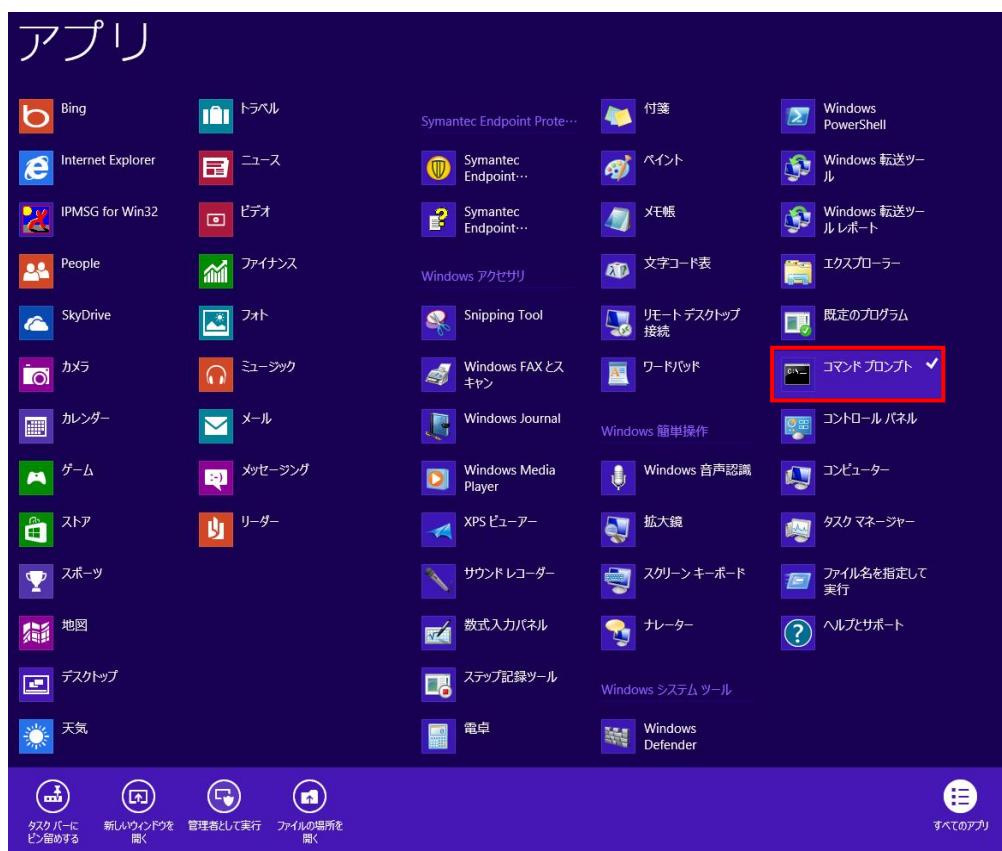
2.1.3 Windows 8

⚠ 注意

2013年7月現在、コントロールパネルのWindowsの機能ウインドウでMicrosoft .NET Framework 3.5.1にチェックをつけても、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1はインストールできません。

Windows 8をご使用の場合は、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1を以下のとおりインストールメディアを使用し実施します。

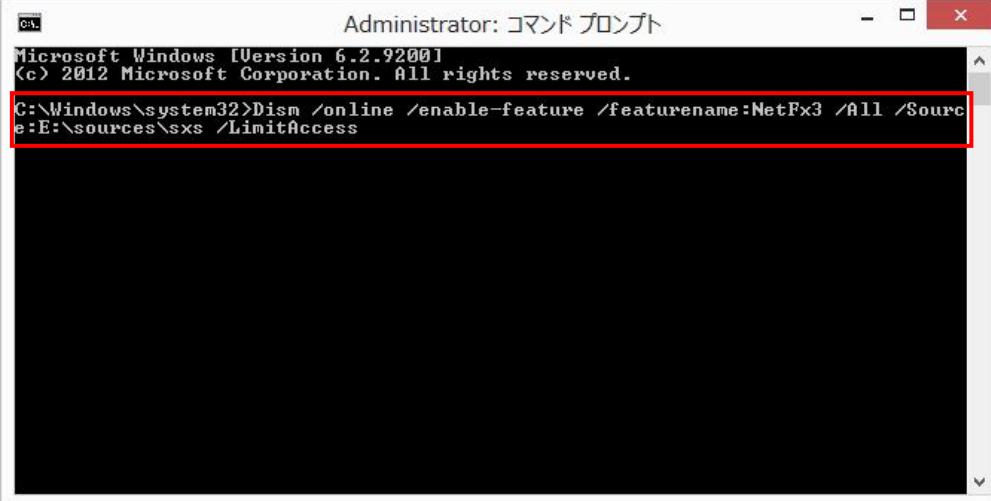
- ・Windows 8 のインストールメディアを管理サーバまたはクライアントPCのCD/DVD ドライブに挿入します。
- ・管理者権限のユーザでコマンドプロンプトを起動します。



- 以下のコマンドを実行します。

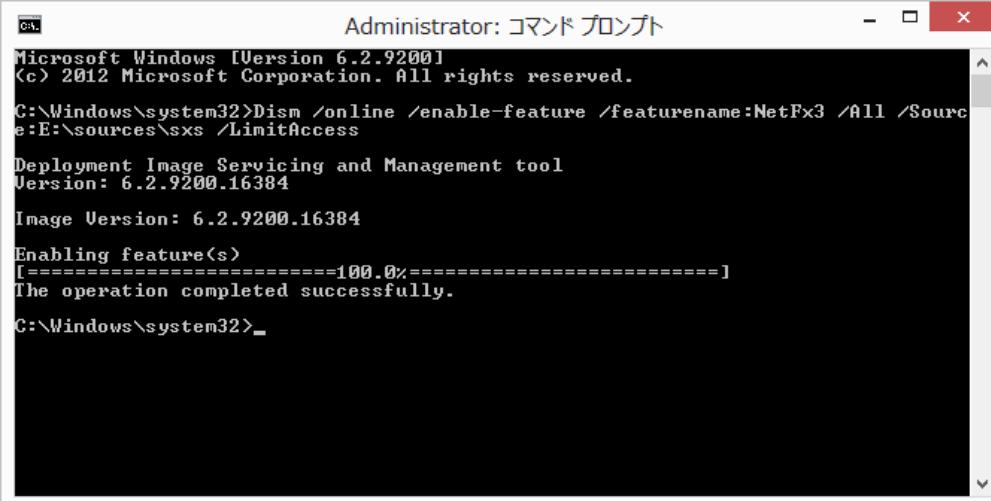
```
Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:x:\sources\sxs /LimitAccess  
(x:CD/DVD ドライブの文字を入力します。)
```

ここでは、CD/DVD ドライブが E ドライブの場合を例としたコマンドを記載します。



```
Administrator: コマンドプロンプト  
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]  
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.  
C:\Windows\system32>Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:E:\sources\sxs /LimitAccess
```

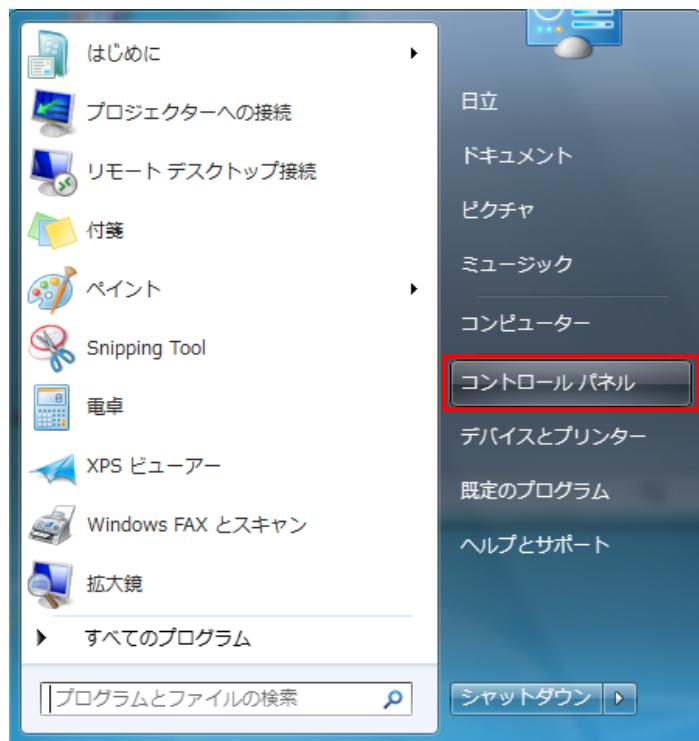
Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールが完了すると、以下のとおり表示されます。



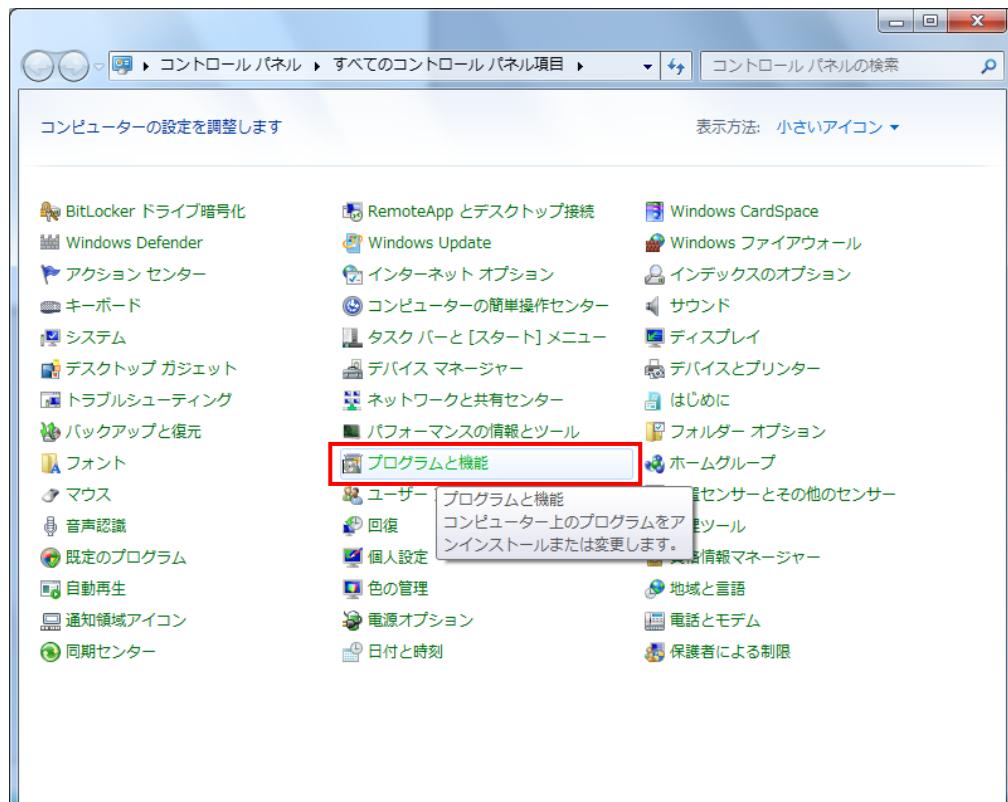
```
Administrator: コマンドプロンプト  
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]  
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.  
C:\Windows\system32>Dism /online /enable-feature /featurename:NetFx3 /All /Source:E:\sources\sxs /LimitAccess  
Deployment Image Servicing and Management tool  
Version: 6.2.9200.16384  
Image Version: 6.2.9200.16384  
Enabling feature(s)  
[=====100.0%=====]  
The operation completed successfully.  
C:\Windows\system32>
```

2.1.4 Windows 7、Windows 7 SP1

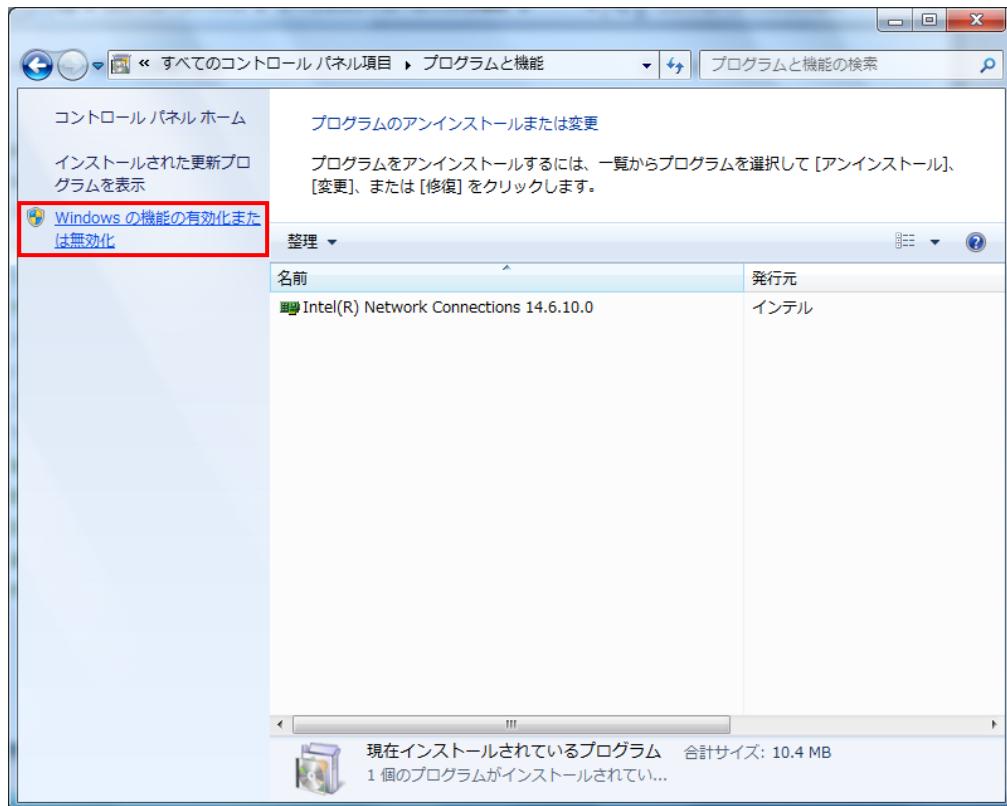
- ・スタートメニュー → コントロールパネルをクリックします。



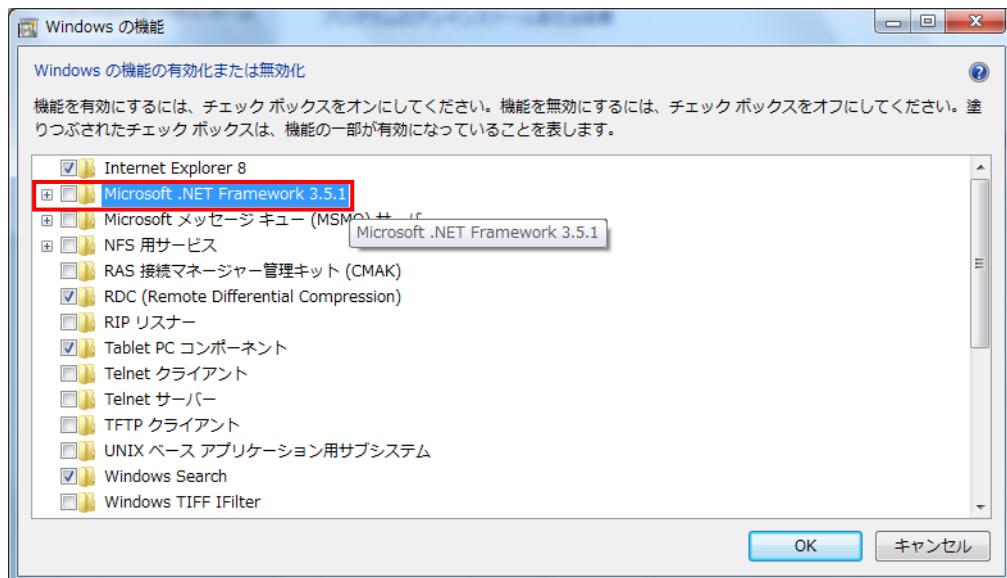
- ・プログラムと機能をクリックします。



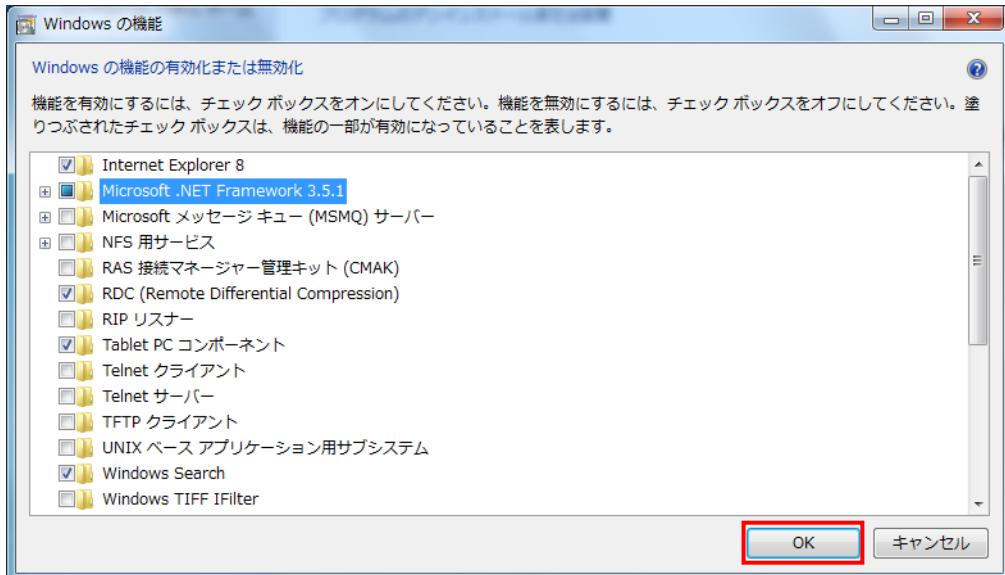
- Windows の機能の有効化または無効化をクリックします。



- Microsoft .NET Framework 3.5.1 のチェックボックスにチェックをつけます。

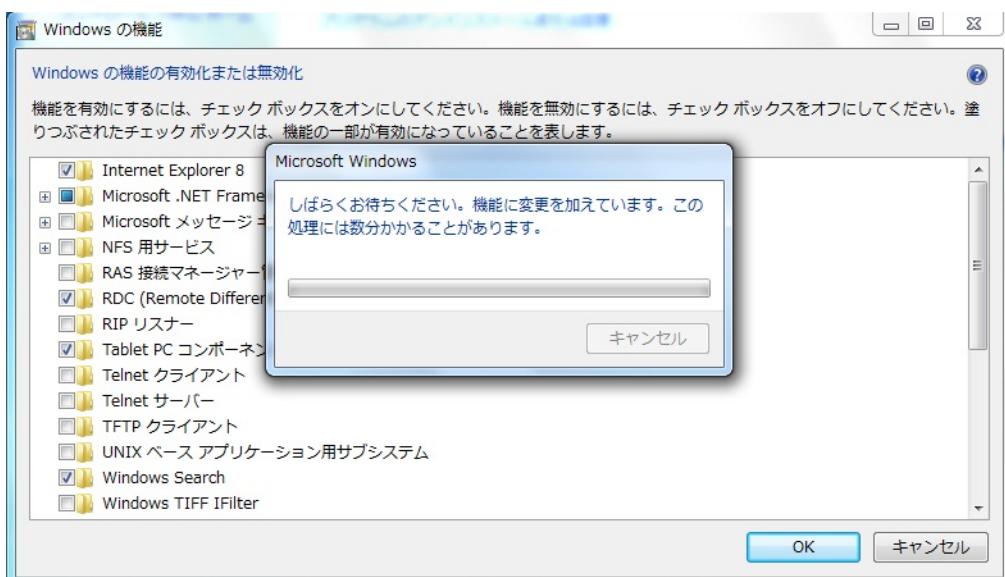


- ・OK ボタンをクリックします。



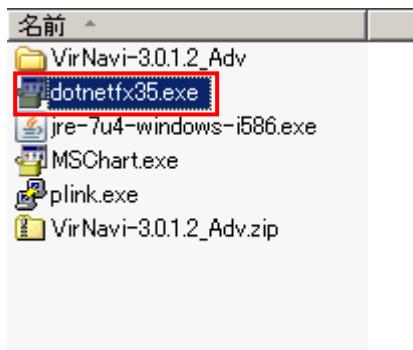
Microsoft .NET Framework 3.5.1 機能の追加中です。

本ウィンドウが閉じると、インストールの完了です。



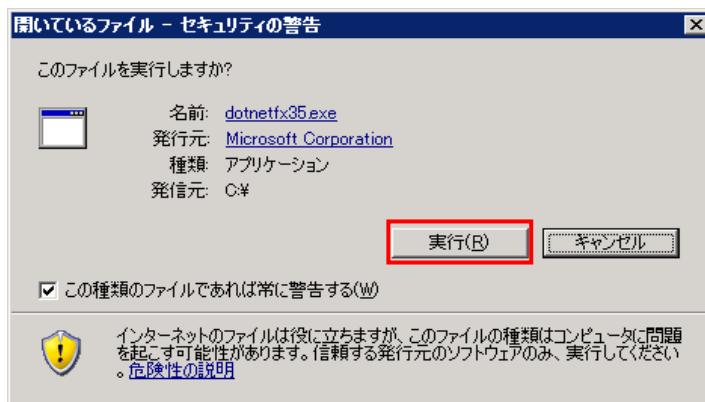
2.1.5 その他のOS

- ・ダウンロードした dotnetfx35.exe(フルパッケージ)を起動してセットアップを開始します。



- ・実行(R)ボタンをクリックします。

(ファイルの解凍が始まります。ファイルが解凍されるまで1~2分かかる可能性があります。)



- ・「同意する(A)」をクリックしてインストールボタン(I)をクリックします。

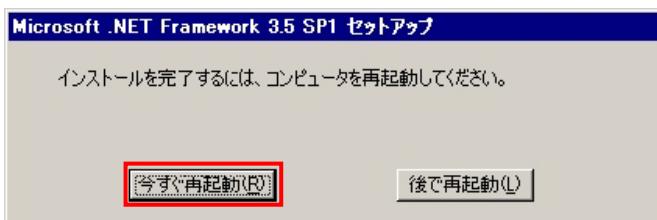
(インストールが開始されます。インストールが完了されるまで数分かかります。)



- ・終了(X)ボタンをクリックします。

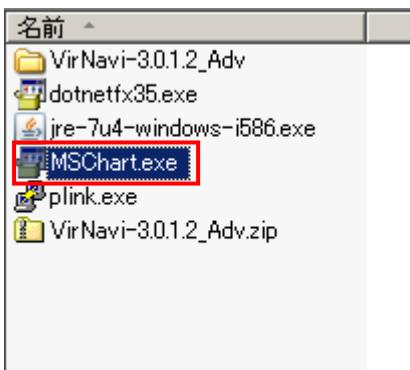


- ・今すぐ再起動(R)ボタンをクリックしてインストールを完了させます。
(お使いのOSバージョンによって表示されない場合があります。)



2.2 Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5

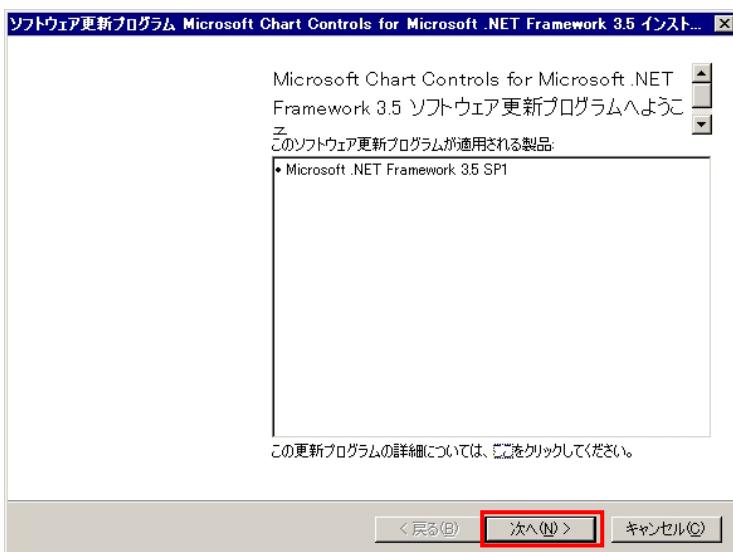
- ・ダウンロードしたセットアップファイル MSChart.exe を起動してセットアップを開始します。



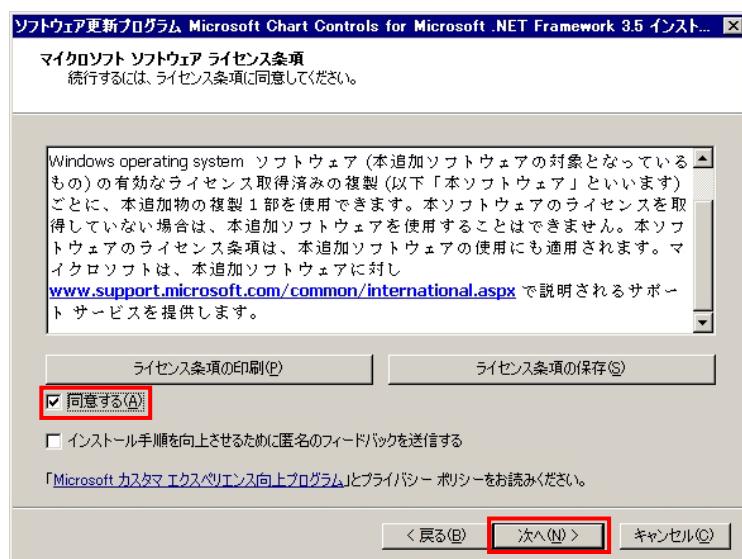
- ・実行(R) ボタンをクリックします。



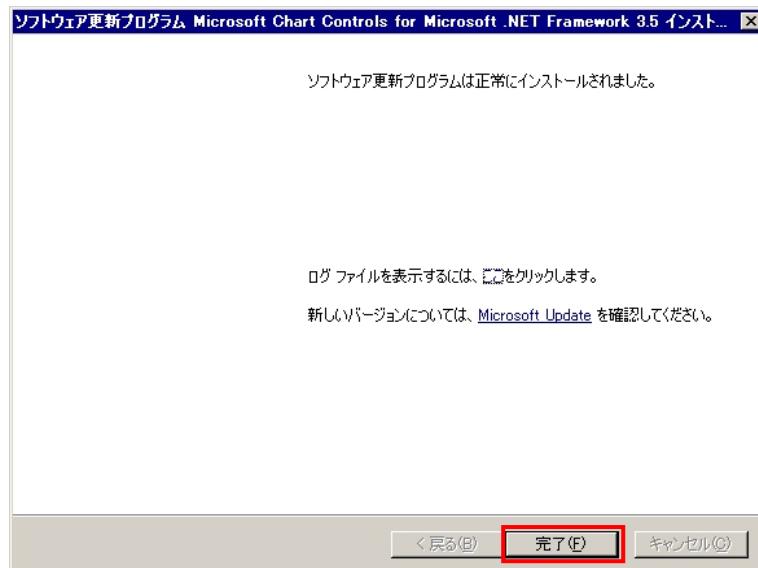
- ・次へ(N) ボタンをクリックします。



- ・「同意する(A)」をクリックして次へ(N)ボタンをクリックします。



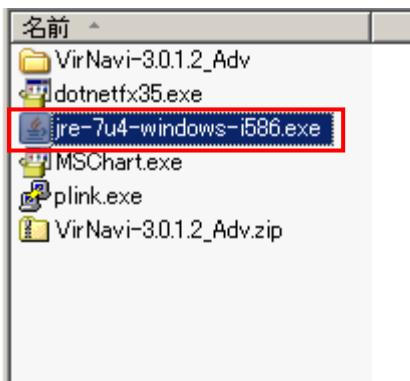
- ・完了(F)ボタンをクリックします。



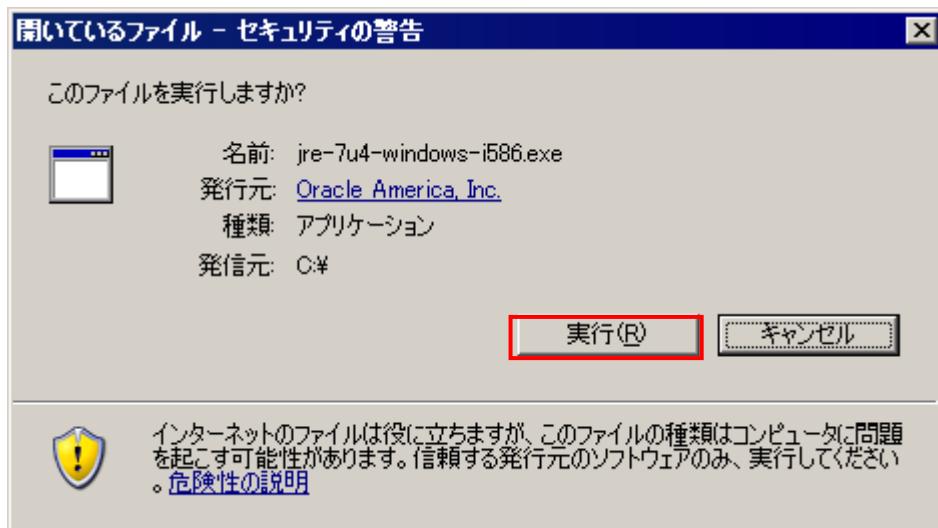
2.3 JRE (Java Runtime Environment) 7

ここでは、例として Windows Server 2003 R2 SP2 に JRE 7 バージョン 4 の x86 版をインストールします。

- ・ダウンロードした jre-7u4-windows-i586.exe を起動してセットアップを開始します。



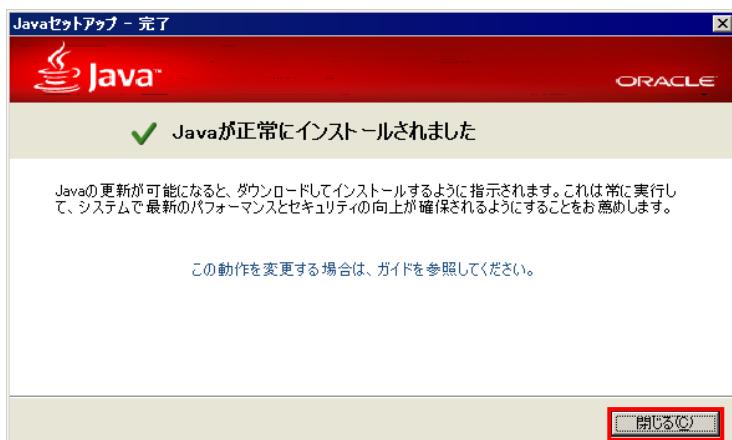
- ・実行(R) ボタンをクリックします。



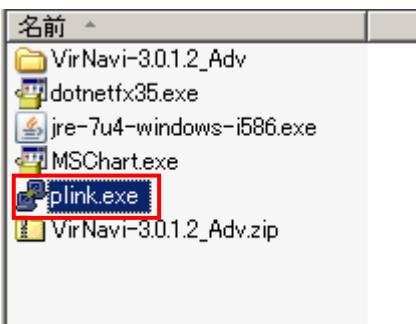
- ・インストール(I)ボタンをクリックします。
(インストールが開始されます。インストールには数分かかります。)



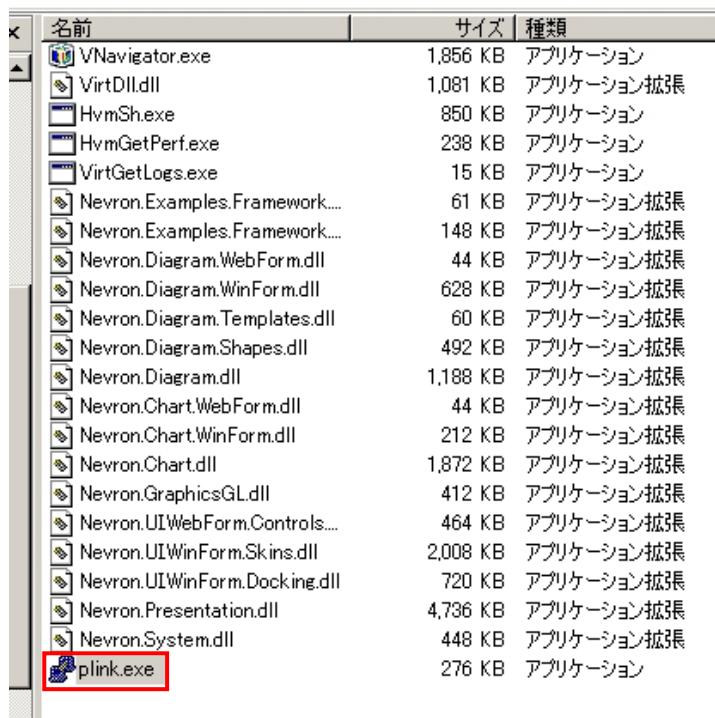
- ・閉じる(C)ボタンをクリックします。



2.4 Plink Release 0.62



- ・ダウンロードしたアプリケーションファイル plink.exe を Virtage Navigator インストールフォルダ ¥VirNavi¥bin にコピーしてください。

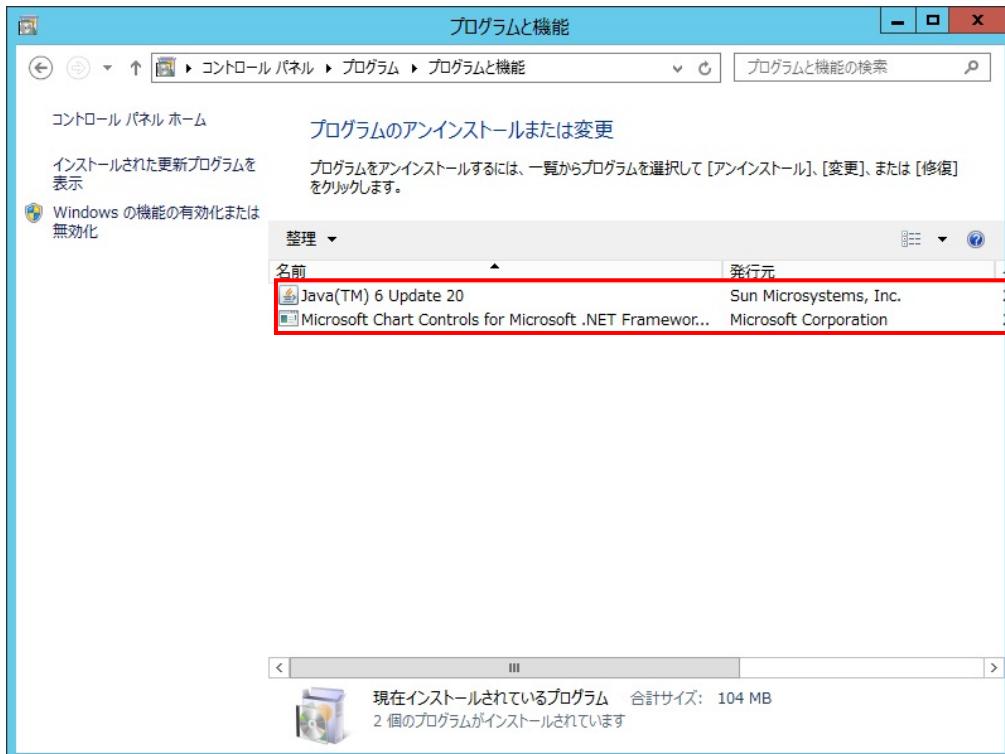


3 インストール後の確認

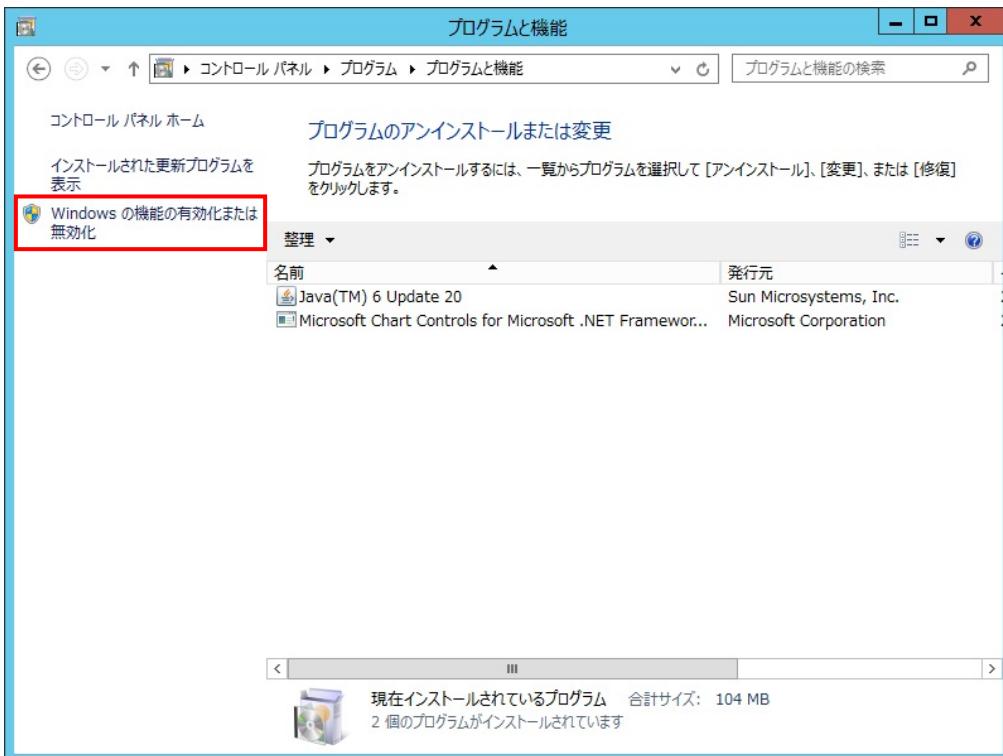
Virtage Navigator と Plink 以外のインストールされたアプリケーションは、以下の手順で確認できます。

3.1 Windows Server 2012

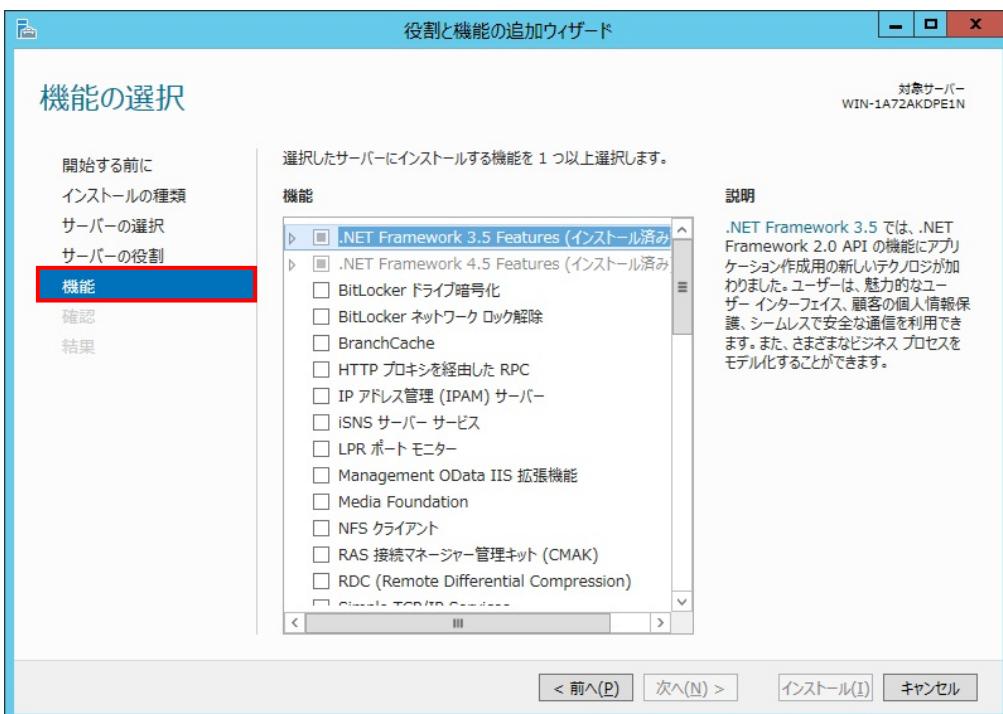
- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Java がインストールされていることを確認します。



- Windows の機能の有効化または無効化をクリックします。

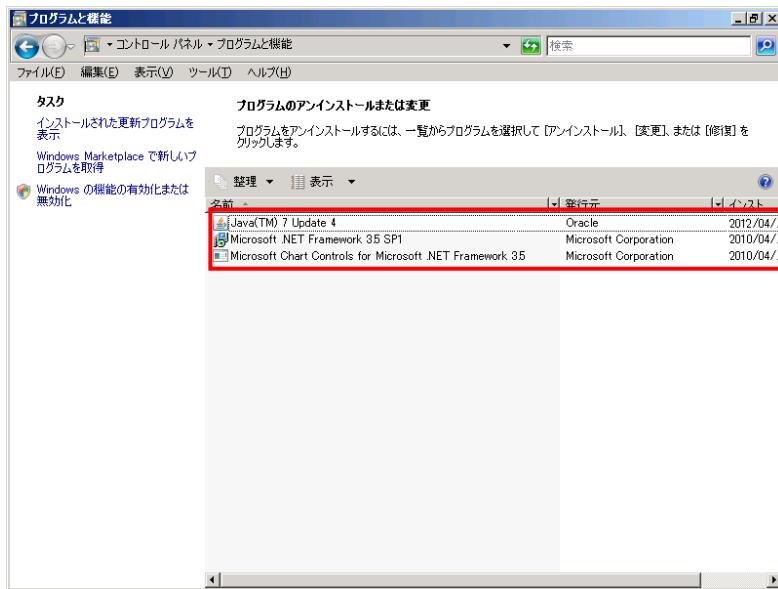


- 役割と機能の追加ウィザードの機能で、.NET Framework 3.5 Features のチェックボックスが塗りつぶされていることを確認します。

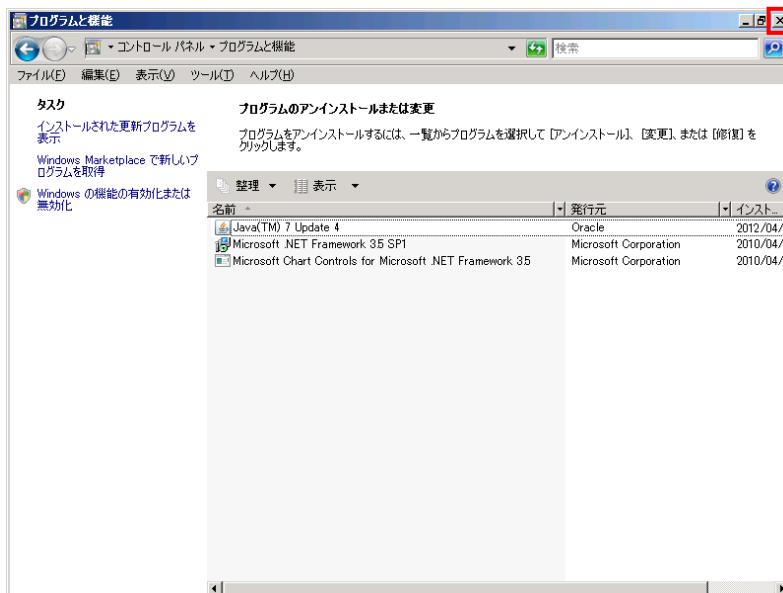


3.2 Windows Server 2008、Windows Server 2008 SP2

- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5.1、Java がインストールされていることを確認します。

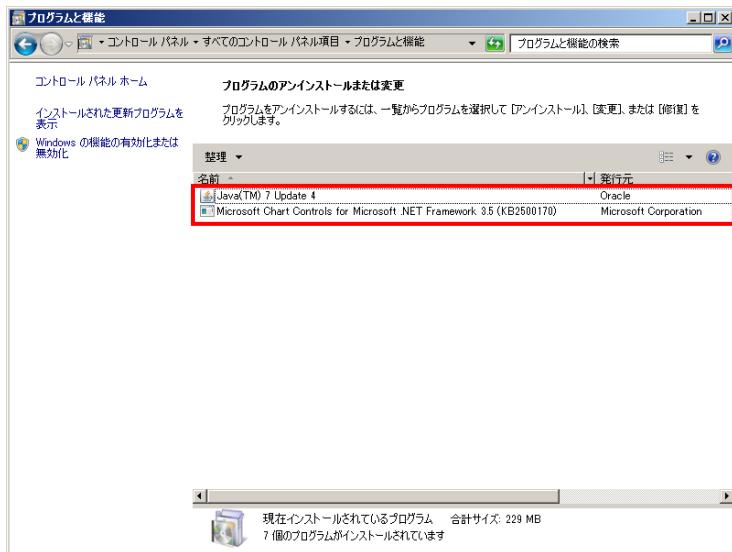


- ・タイトルバーにある閉じるアイコンをクリックして、ウインドウを閉じます。

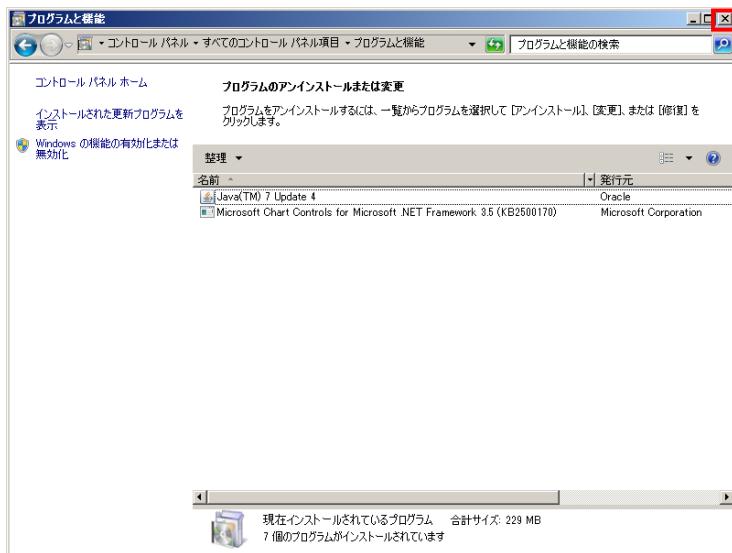


3.3 Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1

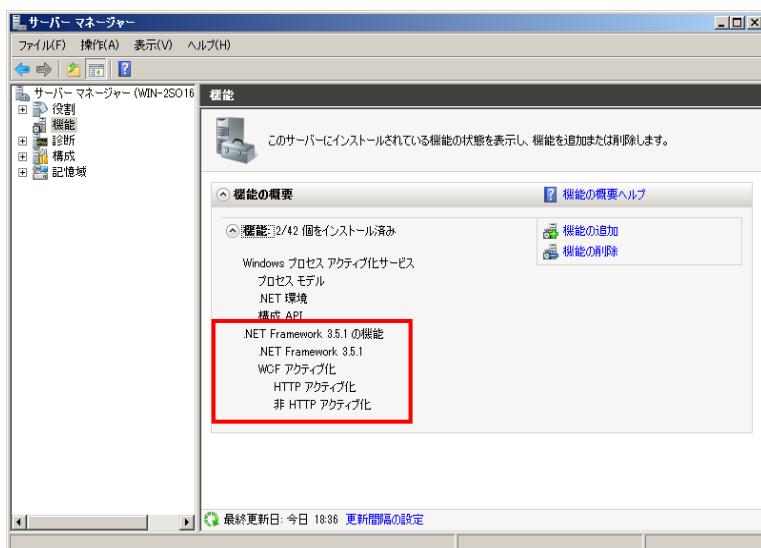
- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Java がインストールされていることを確認します。



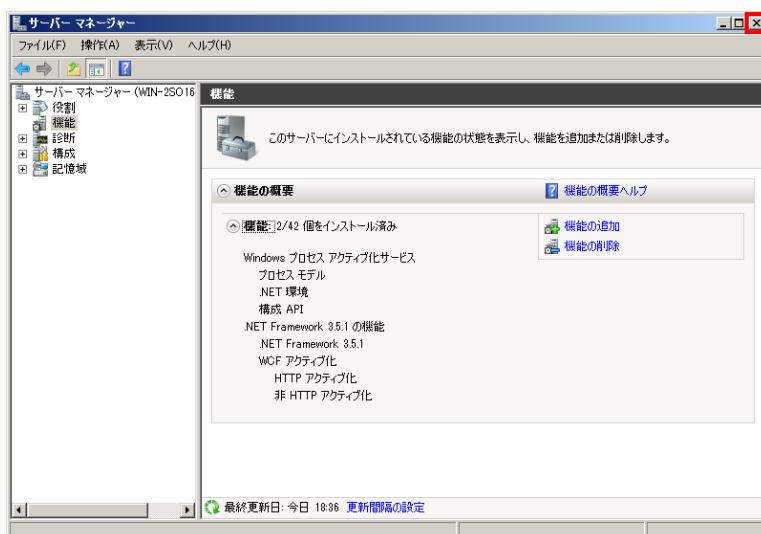
- ・タイトルバーにある閉じるアイコンをクリックして、ウインドウを閉じます。



- ・サーバーマネージャーを開き、.NET Framework 3.5.1 の機能が追加されている事を確認します。
(サーバーマネージャーの開き方については、「2.1.2 Windows Server 2008 R2、 Windows Server 2008 R2 SP1」をご参照ください。)



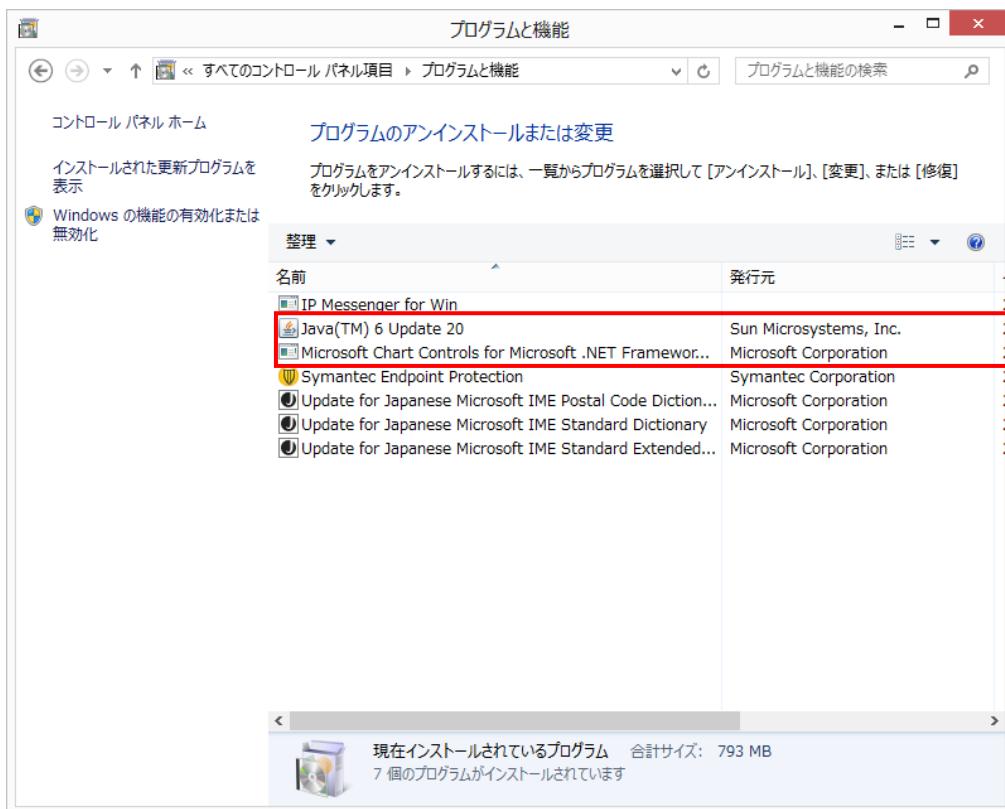
- ・タイトルバーにある閉じるボタンをクリックして、ウインドウを閉じます。



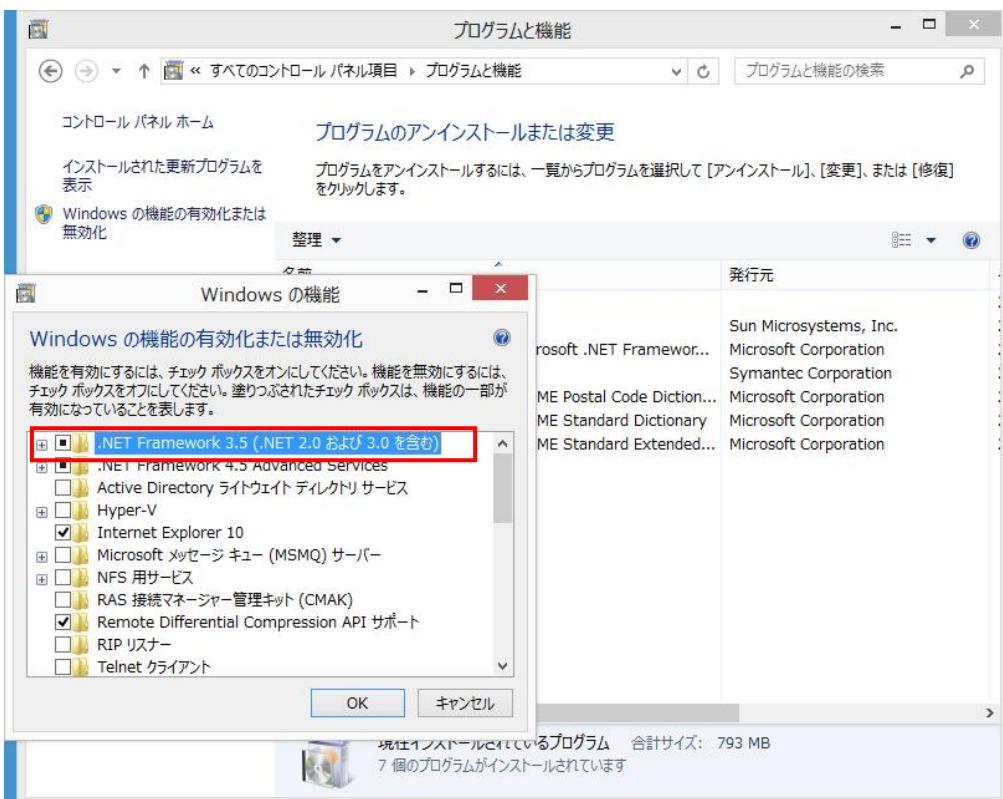
3.4 Windows 8

- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework

3.5、Java がインストールされていることを確認します。

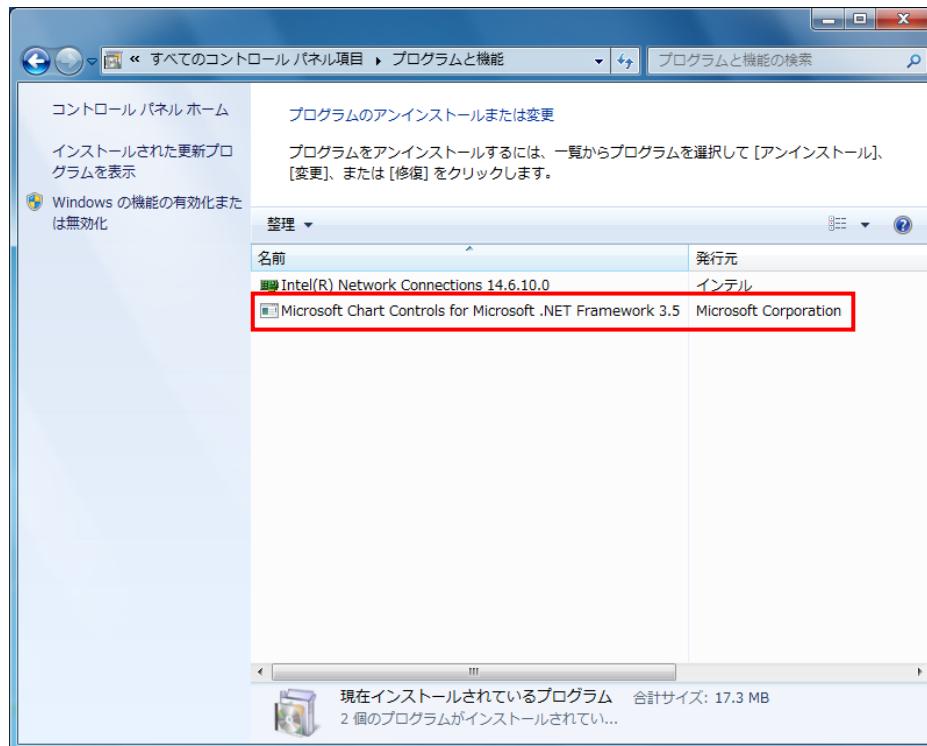


- Windows の機能の有効化または無効化をクリックし、Windows の機能で.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む) のチェックボックスが塗りつぶされていることを確認します。

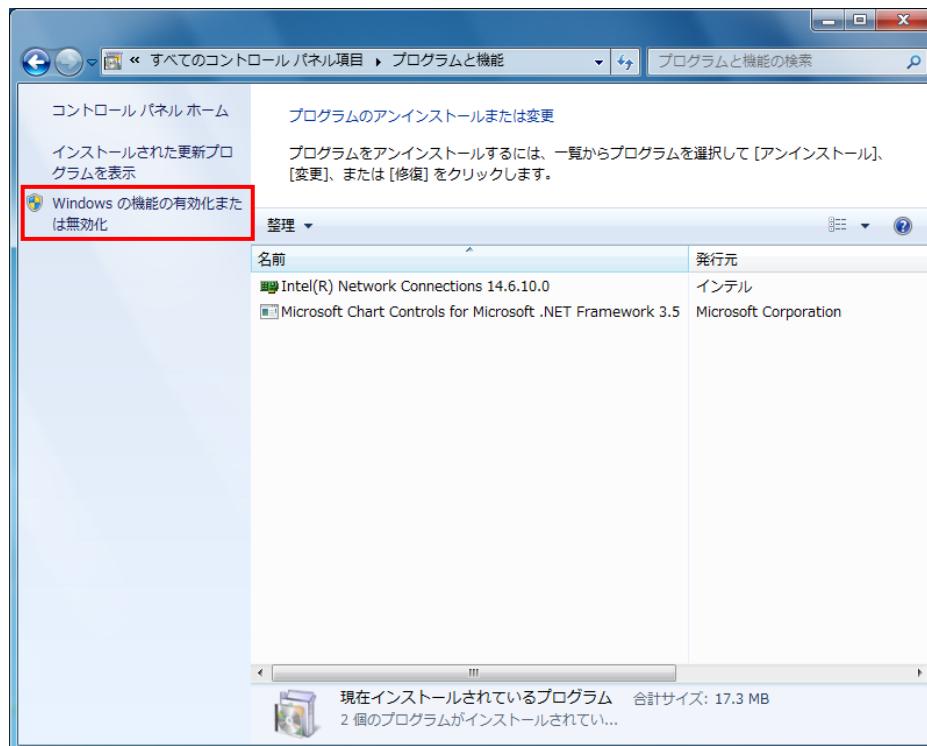


3.5 Windows 7、Windows 7 SP1

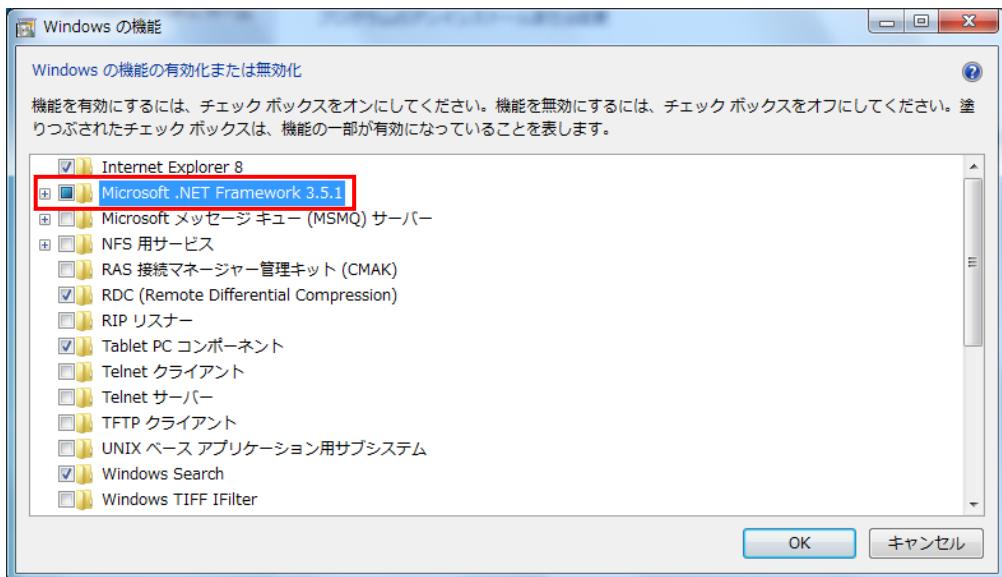
- ・コントロールパネルのプログラムと機能を開いて、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていることを確認します。



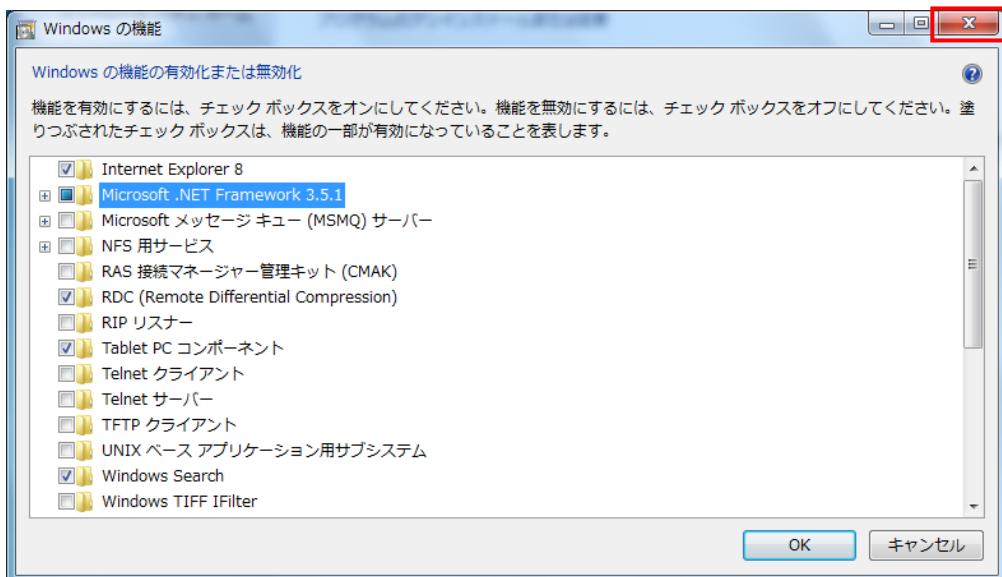
- ・Windows の機能の有効化または無効化をクリックします。



- Microsoft .NET Framework 3.5.1 がインストールされていることを確認します。



- タイトルバーにある閉じるボタンをクリックして、ウインドウを閉じます。



3.6 その他のOS

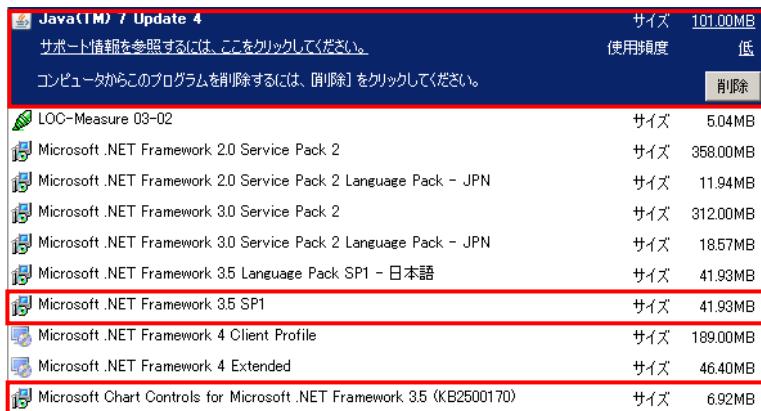
- ・(Windows Vistaの場合)

コントロールパネルのプログラムと機能から、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5.1、Java がインストールされていることを確認します。

- ・(Windows XP SP3 または Server 2003 R2 SP2の場合)

コントロールパネルのプログラムの追加と削除から、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5、Microsoft .NET Framework 3.5.1、Java がインストールされていることを確認します。

- ・ウインドウを閉じてください。削除ボタンをクリックしないようにご注意ください。



4 変更来歴

Virrage Navigator インストール手順書の変更来歴を以下に示します。

表 4-1 Virrage Navigator インストール手順書 変更来歴

Version	Revision	章	変更内容
V01-00	1.01	—	初版
V01-01	1.10	—	Windows Server 2008 SP2 をサポートしました。
V02-00	2.00	—	Windows 7 をサポートしました。
V02-01	2.10	1	「表 1-1 Virrage Navigator フォルダ構成」を変更しました。
V02-02	2.20	2	JRE (Java Runtime Environment) 6 を x86 版に限定しました。
		2.3	<ul style="list-style-type: none"> JRE (Java Runtime Environment) 6 を x86 版に限定しました。 環境変数の設定操作を、Windows x64 版をご使用の場合に限定しました。 環境変数に設定する Path を変更しました。
V02-03	2.30	2	インストール対象の前提アプリケーションを "Plink Release 0.60" から "Plink Release 0.60 または Plink Release 0.61" に変更しました。
		2.4	本章のタイトルを "Plink Release 0.60 または Plink Release 0.61" に変更しました。
	2.31	2.1.2	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1 と表記し直しました。
		2.1.4	本項の手順の対象 OS を Windows 7、Windows 7 SP1 と表記し直しました。
		3.2	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008、Windows Server 2008 SP2 と表記し直しました。
		3.3	本項の手順の対象 OS を Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 R2 SP1 と表記し直しました。
		3.5	本項の手順の対象 OS を Windows 7、Windows 7 SP1 と表記し直しました。
		3.6	(Windows XP または Server 2003 の場合) と表記していた箇所を (Windows XP SP3 または Server 2003 R2 SP2 の場合) と修正しました。
V02-04	2.40	2	インストール対象の前提アプリケーションを "Plink Release 0.60 または Plink Release 0.61" から "Plink Release 0.62" に変更しました。
		2.4	本章のタイトルを "Plink Release 0.62" に変更しました。
V03-00/A	3.01	2	「表 2-1 前提アプリケーション一覧」で JRE (Java Runtime Environment) 7 に変更しました。
		2.3	JRE (Java Runtime Environment) 7 に変更しました。
		3.2	確認するアプリケーションを追記しました。
		3.3	
		3.6	
V03-00/B	3.02	—	Revision を 3.02 にしました。
		—	
V03-00/D	3.04	—	Revision を 3.04 にしました。
V03-00/E	3.05	—	Revision を 3.05 にしました。
V03-01	3.10	—	Revision を 3.10 にしました。
V03-02	3.20	—	「重要なお知らせ」に他社ソフトウェアのインストールについての記載を追加しました。
		1	「表 1-1 Virrage Navigator フォルダ構成」を変更しました。
		2.1	「2.1.1 Windows Server 2012」と「2.1.3 Windows 8」で、それぞれ Windows Server 2012 でのインストール手順と Windows 8 でのインストール手順を追記しました。
		3	「3.1 Windows Server 2012」と「3.4 Windows 8」で、それぞれ Windows Server 2012 での確認手順と Windows 8 での確認手順を追記しました。
		2.1.1	注意事項の確認月を変更しました。
	3.20/A	2.1.3	注意事項の確認月を変更しました。